

ロータリー財団に一部を寄付

「多少でもロータリークラブに貢献できないか」——かねてより、広報委員会の有志がイベントの企画を立てようと、何回も打ち合わせを行い検討してきた。そこで出てきたのがコンサートだった。たまたま私が、フジコ・ヘミングの親戚関係にあった為、昨年12月、サントリーホールでの公演終了後、本人にお願いしてみた。「来年4月までドイツ、フランスに居るが、4月から6月の間ならいいわよ」と返事をくれた。

来る6月11日(金)、品川区立総合区民会館「きゅりあん 大ホール」——「フジコ・ヘミング チャリティーコンサート」が決まった経緯だ。早速、プロジェクトを立ち上げ会場の手配、企画内容について検討した。開催場所が品川区ということもあり、浜野 健区長にも面会した。「8月末から9月まで第1回品川芸術文化祭を開くので、是非、フジコさんが来るのならプレ・コンサートととして出来ないか」と逆に要請された。

実行委員会を立ち上げ、区から要請があった財団法人品川文化振興事業団との共催とし、国際ロータリークラブ広報委員会後援ということに決めた。原田元広報委員長にも相談し、役員会で主旨の説明をいただいた。実行委員会としては、フジコの要望もあり動物愛護の協力ということで「キャットライフサポート」にチャリティーを行うとともに、その一部を「ロータリー財団」にも寄付をすることを決めた。たまたま、3年前にフジコは、フランスのパリロータリークラブでコンサートを行っており、快く了解してくれた。

ところで、イングリット・フジコ・ヘミングは東京音楽学校(現東京芸術大学)在学中に毎日音楽コンクールに入賞し、文化放送音楽賞など多数受賞。同校卒業後、日本フィルなど数多くの国内オーケストラと共演。その後、ドイツ・ベルリン音楽大学に留学、世界の指揮者レナード・バースタインから大絶唱を受けた。また、NHKテレビのドキュメンタリー「フジコ あるピアニストの軌跡 一」が放映され大ブレイクした。1999年のことだった。前年リリースしたデビューアルバム「奇跡のカンパネラ」で第14回日本ゴールドディスク大賞を受賞、その後、同賞を3回受賞。すでに、200万枚以上のCDを全世界で売上げている。

また、カーネギーホールの公演を始め、パリ、欧州、モスクワなど世界で活躍し、2005年には、日本武道館でユニセフチャリティーのため公演し、1万3000人を動員した。現在も日本はもとよりブルガリア、スペイン、ロンドン、ロサンゼルスさらにニューヨークなど世界で活躍している。

広報委員会では、なるべく多くのロータリアンに参加していただきたく、当日のパンフレット、そしてガバナー事務所よりご案内をお願いすることにしております。料金は、S席 8,000円、A席 7,000円です。是非、ご協力を賜れば幸いです。



問い合わせ先 ロータリー地区広報委員 青木 浩晃
株式会社ビー・エフ・シー
03 - 3524 - 0786

